令和8年度第1回大田区医療的ケア児・者支援関係機関会議（令和8年8月4日（火）開催）
書面参加者意見及び区回答一覧

番号	議題（1） 大田区障がい者実態調査の結果報告について	回答
1	現在利用しているサービスの満足度：本校は肢体不自由校のため、身体のデータを確認いたしました。18 才未満の場合、満足度は高く、18 才以上になると、満足度の低下が見られるようです。学校卒業後に満足度の高いサービスが求められていることが分かります。 希望する暮らし：身体の方が「分からない」と回答された方が全体で一番多い（25.7％）のが気になりました。	切れ目のない支援が提供できるよう努めてまいります。 地域で希望する暮らしが提供できるよう、医療的ケアが必要な方など重度の障がいがある方が利用可能なグループホームの整備等について検討を進めてまいります。
	議題（2） 医療的ケア児・者支援に関する区ホームページ等について	回答
2	・サービスの分かりやすさを多くの方が求められていることが分かります。 ・人材不足をどのように改善されていくのかが課題であることが分かります。 ・障害に応じた専門性が求められていることが分かります。本校においても協力していきたいと考えます。	令和７年度に、医療的ケアの情報を一つにまとめた「医療的ケアが必要なお子さんと家族のための支援ガイドブック～大田区版～」を作成いたしました。また、区ホームページに医療的ケア児・者への支援をまとめたページを作成いたしました。毎月多く閲覧・ダウンロードをいただいております。 実態調査で整理された課題も踏まえながら、今後の医療的ケア児・者支援施策に取り組んでまいります。
	議題（3） 大田区医療的ケア児等コーディネーター支援体制整備促進事業補助金の概要について	回答
3	本校で在籍している児童・生徒は、約半数の子供たちが医療的ケアが必要です。在校時から卒業後にも、コーディネーターがいることで、必要な支援等の情報を得られることは大変助かると考えます。	東京都医療的ケア児等コーディネーター養成研修に、毎年区から受講者を推薦し、資格取得者は増加しております。資格を取得するだけでなく必要としている方へ還元できるよう実働できる体制の整備が課題であると認識しております。

	議題（4）専門部会（医療的ケア児等コーディネーター連絡会）の開催について	回答
4	学校では、医療的ケアに対する、看護師不足や対応可能なサービスの充実が課題となっています。	医療的ケアが必要なお子さんが、ほかのお子さんと同じように学習を進められるように、引き続き、保護者や学校側と話し合いの場が持てるよう取り組んでまいりたい。
	その他	回答
5	アンケートに対して、半数以上の回答を得られた内容について、大変参考になりました。ありがとうございました。	実態調査で整理された課題も踏まえながら、今後の医療的ケア児・者支援施策に取り組んでまいります。

※書面参加者意見につきましては、原文をそのまま引用しております。